



鳥取県令和5年台風第7号 災害復旧・復興本部会議(第5回)

【日 時】令和5年10月17日(火)午前11時30分～午前11時45分

【場 所】第3応接室（県庁本庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部長、復旧・復興本部佐治現地事務所長

* 市町村等には映像配信

【次第】

- 1 9月補正予算の成立を受けた災害復旧・復興の取組
- 2 その他

災害査定の進捗状況・復旧復興状況

◆ 公共土木施設（道路・河川等）の復興

- ・被災箇所については、応急復旧により日常生活に必要なインフラ機能を確保済。
- ・緊急性が高く査定前着手が可能な工事は、9月から着手済。
- ・その他は、10月23日から12月8日まで災害査定を受け、**復旧工事の発注を11月頃から本格化。**



鳥取市佐治町古市



鳥取市佐治町福園



鳥取市用瀬町別府

単位：百万円

日程	県		市町村	
	件数	申請額	件数	申請額
10/23~27	67	3,174	18	238
11/6~10	83	3,907	5	32
11/13~17	88	3,669	55	2,471
11/27~12/1	75	4,414	9	169
12/4~8	38	3,178	13	1,030
合計	351	18,316	100	3,942

※表中の申請額は現段階での予定額であり、精査中
 ※表のうち、査定前工事を10カ所で行っている

◆ 採択された治山・砂防事業

● 災害関連緊急治山事業(10/16採択)

- ・鳥取市河原町北村地区 245百万円 谷止工1基
- ・八頭郡八頭町姫路地区 57百万円 谷止工1基
- ・八頭郡八頭町落岩地区 62百万円 谷止工1基



土砂流出発生源（北村地区）



県道被災状況（北村地区）

● 災害関連緊急砂防事業(9/14採択)

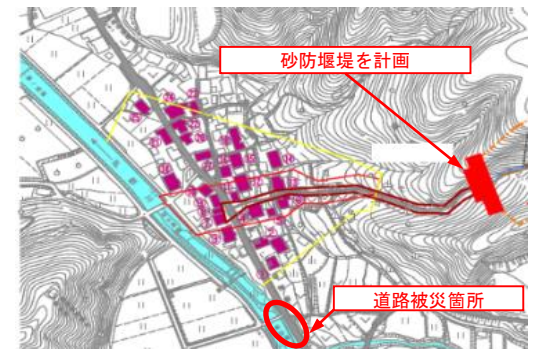
- ・福地谷川 八頭郡八頭町福地地内 195百万円 砂防ダム1式



流域内の崩壊地



県道への土砂流出



砂防堰堤を計画

道路被災箇所

農地・農業用施設災害の災害査定・復旧復興状況

- 農地・農業用施設災害については、災害査定に向けた査定設計書作成を進めている。
- 10/16より災害査定を順次開始。12/22まで延べ24班体制での実施を予定。

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	計
10月			1班			1班
11月		2班	2班	2班	3班	9班
12月		5班	4班	5班		14班
						24班

- 査定前であっても必要に応じて、随時、応急復旧を実施中。

■鳥取市河原町「大淵用水」



土砂埋没による通水機能の喪失
(R5.9.5撮影)



※排土工事中は代
替えポンプを稼働
R5.9.6撮影)



排土による通水確保
(R5.9.24完了)

- 9/26～27に、国の災害査定官及び県担当者にて各市町から要望のあった案件の現地確認等を実施。橋梁などの重要施設の査定申請における復旧方針等の助言を行った。



※被災状況の確認
(R5.9.26 八頭町)



※現地確認
(R5.9.26 八頭町橋梁被災箇所)

林道災害の災害査定・復旧復興状況

○10/30より災害査定を順次開始。12/15まで延べ6班体制で実施予定。

区分	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	計
10月					1班	1班
11月		1班	1班		2班	4班
12月			1班			1班
						6班

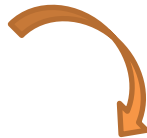
○被災後39路線が通行不能となっていたところ、現在までに3路線（河合谷線、毛無山線、籠山線）が解消。他の路線についても、査定が終わり次第、順次復旧を実施予定。

○鳥取市管理林道の早期復旧を図るため、9月より東部農林事務所八頭事務所に職員2名を派遣し、支援体制を強化。

○林道河合谷線 （鳥取市国府町雨滝）

県管理

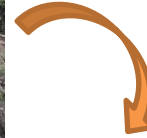
土砂撤去により通行確保



○林道毛無山線 （鳥取市矢矯）

市管理

土砂撤去により通行確保



○林道籠山線 （鳥取市江波）

市管理

土砂撤去により通行確保



安全・安心な県民生活の回復

自然公園 (雨滝・鷲峰山登山道)

時期	内容
R5.10月下旬	測量設計業務契約
R6.3月	復旧工事契約
R6.4月下旬～5月上旬（雪解け後）	工事着手 早期復旧を目指す

※県・鳥取市で連携して取り組む。

地域交通の再開

・10月16日より日ノ丸路線バスの
佐治線全便が通常運行再開。

⇒概ね全ての路線で通常運行中。

上・下水道



＜鳥取市佐治町高山＞
橋崩落 → 迂回管路を
仮設



＜八頭町福地＞
道路復旧にあわせて埋
設工事

＜鳥取市・八頭町から聞き取り＞

- ・道路・護岸工事にあわせて本復旧管路の埋設工事を進める。
- ・国費関連は農林関連施設等の災害査定と同時に実施予定。

防災機能向上に向けた今後の取組

◆台風第7号の教訓を踏まえた対策の調査検討

「災害激甚化防災機能向上専門家調査事業」の予算成立により、災害の激甚化を踏まえたインフラの機能強化等について、鳥取大学教授からの意見を伺いながら調査検討を開始。

【検討テーマと有識者】

- ・佐治川流域の安全確保 : 工学部 松見教授、三輪教授
- ・佐治川流域のインフラ機能強化 : 工学部 谷本教授、桑野教授
- ・創造的復旧に向けた工法検討 : 工学部 宮本教授
- ・農業用水路の応急対応 : 農学部 緒方教授



【これまでの主な経緯】

- ・8/31 工学部附属地域安全工学センターとの情報交換、復旧工法等検討への支援依頼し、作業を開始
- ・9/29 インフラ機能強化等検討テーマと担当教授の決定
- ・10/4 佐治川河川復旧工法に関して現地検討
- ・10/6 佐治川流域安全確保に関する関係者協議を開始

◆境港の災害時海上輸送応援協定締結（10月25日）

- ・陸上輸送寸断時にあっても、日本海側RORO船定期航路を活用した海上輸送応援により、サプライチェーンを維持。
- ・災害時の物資輸送・物流専門家の派遣等に係る協力体制を構築。

【協定者】

近海郵船(株)、日本通運(株)山陰支店、NX境港海陸(株) 等



<10月15日現在の状況>

寄附金額 112,697,083円

(342件、13団体)

※令和5年12月末まで
引き続き受付中

【概要】

- 鳥取県への災害支援寄附について、8月17日から民間のふるさと納税受付サイト(ふるさとチョイス、ふるなび、さとふる)に特設サイトを開設し、受付中
- 県人会、同窓会、県外本部主催イベント来場者への災害支援寄附募集チラシ配布や県外本部等メールマガジン、フェイスブック、X(旧ツイッター等で寄附を呼びかけ
- 鳥取市、八頭町、三朝町においても、民間のふるさと納税サイト等で災害復興支援寄附の受付を継続

9月補正予算成立・激甚災害指定

**過去最大の復興予算（367億円）が10月13日に成立
激甚災害が10月6日に早期指定（10月12日に公布・施行）**

災害復旧・復興予算の措置

367億円（9月補正+専決）

※H12の鳥取県西部地震関連予算352億円を超え、過去最大の対策予算

<9月補正予算：331億円>

◆ 公共土木施設復旧（181億円）

- 公共土木施設の復旧、河川の樹木伐採・掘削
- 河川護岸、治山・砂防堰堤の改良復旧 等

◆ 農林畜産関連復旧（97億円）

- 農地及び農業用施設、林道・作業道の復旧 等

◆ コロナ禍や台風被害を乗り越えるための観光振興（1.5億円）

- 旅行商品造成、情報発信強化、国際航空便の拡充に向けたプロモーション強化 等

◆ 災害激甚化への対応、防災・減災対策の強化（51億円）

- 今後の防災機能向上に向けた専門家による調査研究
- 医療機関の浸水対策、道路冠水危険箇所へのWEBカメラ設置
- 台風第7号や今後発生する災害により被害を受ける公共土木施設や農林関連施設の早期復旧等を図るための復旧特別枠の設定（50億円） 等

<専決予算：36億円>

公共土木施設の応急復旧（27億円）、農林・商工・観光支援（7億円）、被災者支援等（2億円）

激甚災害の早期指定

⇒10/6 閣議決定（10/12に公布・施行）

（激甚災害指定により復旧事業の国の補助率が嵩上げされるため、迅速な復旧・復興がさらに加速）

【本激】 農地等の災害復旧事業に係る補助等の特例（地域を特定しない）

【局激】 公共土木施設の災害復旧事業に係る補助等の特例（三朝町）